

## ホワイトペーパー：

### コラストレージ連携の初期設定手順

|   |    |
|---|----|
| 内容 1 概要.....                              | 1  |
| 1.1 このガイドについて .....                       | 1  |
| 1.2 準備するもの(今回の実施環境) .....                 | 1  |
| 2 手順 .....                                | 2  |
| 2.1 LAN DISK の開梱および初期設定の準備 .....          | 2  |
| 2.2 LAN DISK の NarSuS 登録 .....            | 5  |
| 2.3 LAN DISK の初期設定 .....                  | 6  |
| 2.4 コラストレージのインストール.....                   | 8  |
| 2.5 コラストレージの設定 .....                      | 9  |
| 2.6 LAN DISK CONNECT のインストールおよび同期設定 ..... | 10 |
| 2.7 同期の結果の確認.....                         | 13 |

本文書は、株式会社アイ・オー・データ機器（以下、「アイ・オー・データ」とします。）が、アイ・オー・データの特定の商品に関する機能・性能や技術についての説明を記述した参考資料となります。当該商品の利用という目的の範囲内で自由に使用、複製をしていただけますが、アイ・オー・データの事前の書面による承諾なしに、改変、掲示、転載等の行為は禁止されます。また、あくまで参考資料として提供いたしますので、内容については一切保証を致しかねます。アイ・オー・データサポートセンターでは内容に関するお問い合わせは承っておりません。

(1)アイ・オー・データは、本文書によりいかなる権利の移転もしくはライセンスの許諾、またはいかなる保証を与えるものではありません。

(2)案内内容はアイ・オー・データ内の環境での一例であり、すべての環境で同様の手順・推移となることを保証・案内するものではありません。

コラストレージに関する内容は東芝テック株式会社（以下「東芝テック」）にお問い合わせください。

<https://www.toshibatec.co.jp/>

# 1 概要

## 1.1 このガイドについて

東芝テックと弊社は、東芝テックのクラウド型ストレージサービス「Collastorage」（以下「コラストレージ」）とアイ・オー・データの NAS（ネットワーク接続型ストレージ）「LAN DISK」を 2024 年 10 月 1 日より連携しました。詳細は以下 URL をご覧ください。

<https://www.iodata.jp/file/24-pr010.pdf>

本ガイドはアイ・オー・データ製の Windows OS 搭載 NAS に東芝テックのストレージサービス Drive アプリケーションおよび LAN DISK CONNECT をインストールすることで、NAS 内の共有フォルダとコラストレージを同期する初期設定手順をご案内します。

一部 WEB リンクになっております、印刷して利用される場合はアイ・オー・データのホームページ (<https://www.iodata.jp/>) の検索欄にて単語検索してアクセス下さい。



## 1.2 準備するもの(今回の実施環境)



### LAN DISK

HDL-Z10/HDL-Z25 シリーズ  
インターネット接続あり



### コラストレージアカウント

東芝テックにご注文ください。



### PC

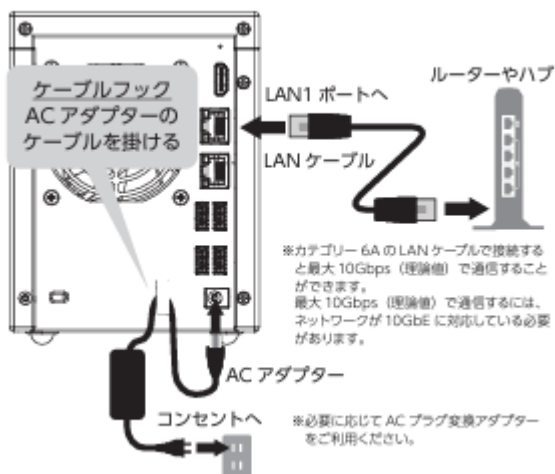
Windows OS (10～)  
インターネット接続あり  
LAN DISK と同一ネットワーク

## 2 手順

ここからは①LAN DISK の初期設定②コラストレージのアプリインストールと初期設定③LAN DISK CONNECT のインストールと同期設定の手順をご案内します。

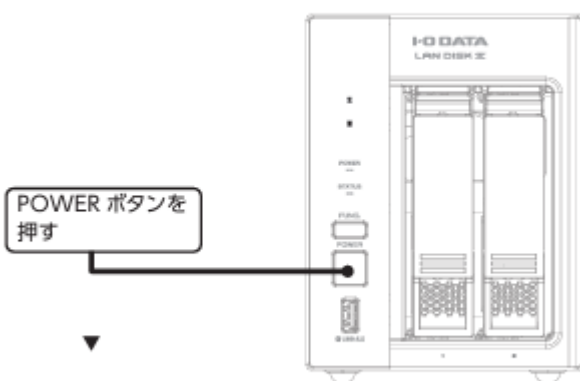
### 2.1 LAN DISK の開梱および初期設定の準備

1. LAN DISK を開梱し、付属品を確認します。
2. 以下のように配線をします。



3. LAN DISK の電源を入れます。

#### 電源を入れる



[STATUS ランプ] が緑点灯になるまで待ちます。

4. PC を LAN DISK と同一のネットワークにつなぎ、電源を入れます。

5. LAN DISK 起動後、IP アドレスを確認します。

IP アドレスの確認方法：

A) LAN DISK CONNECT を使う方法

- ① PC に LAN DISK CONNECT をインストールします。

<https://www.iodata.jp/lib/software/l/2038.htm>

- ② LAN DISK CONNECT を起動し、「ローカル」を選択すると LAN DISK が表示されるので、選択すると右に表示されます。

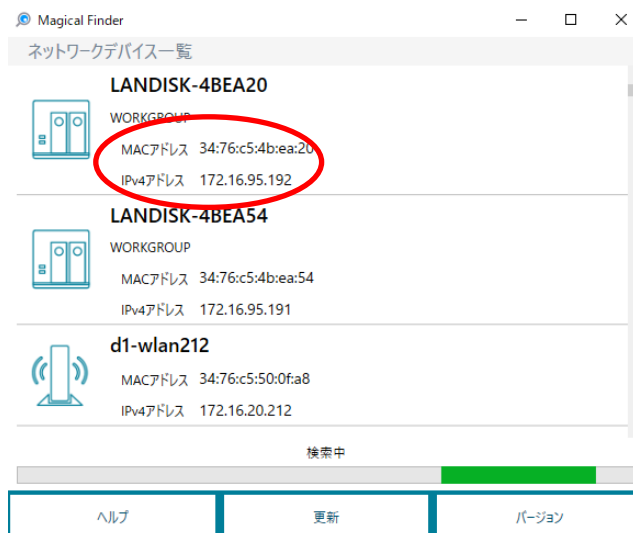


B) Magical Finder を使う方法

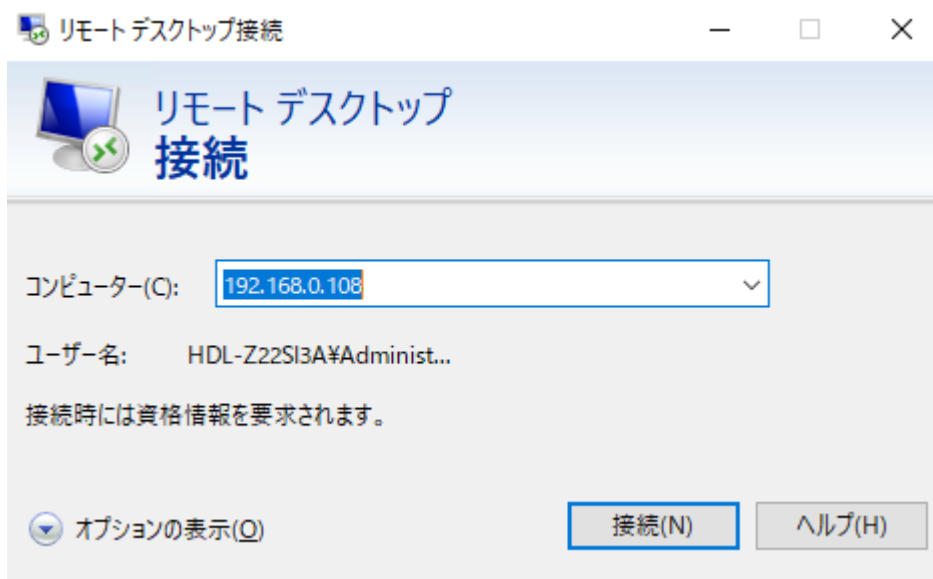
- ① PC に Magical Finder をインストールします。

<https://www.iodata.jp/lib/software/m/1551.htm>

- ② Magical Finder を起動すると LAN DISK と IP アドレスが表示されます



6. PCの「リモートデスクトップ接続」を起動し、確認したIPアドレスを使って接続します。



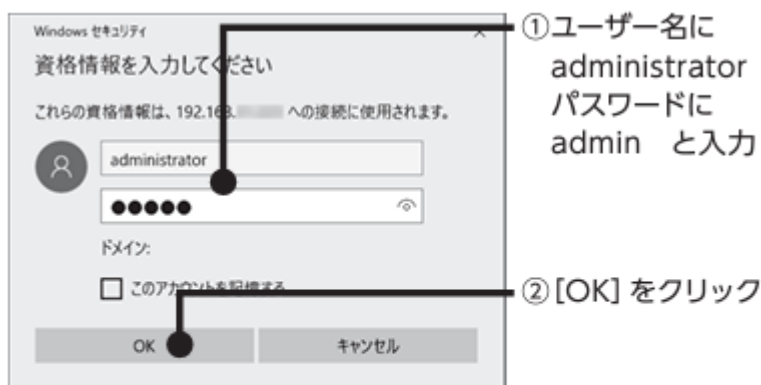
※LAN DISK CONNECT や Magical Finder を使って直接リモートデスクトップ接続することも可能です。

詳細はヘルプをご覧ください。

[LAN DISK CONNECT ヘルプ](#)

[Magical Finder ヘルプ](#)

7. ユーザー名とパスワードを求められる場合は以下の初期パスワードを入力ください。



※上記画面が表示されない場合は、本製品とパソコンが同じセグメントにないことが考えられます。本製品のIPアドレスをご確認ください。

※セキュリティのためパスワードは、後ほど必ず変更してください。(出荷時パスワードは「admin」)

## 2.2 LAN DISK の NarSuS 登録

NarSuS（ナーサス）とは？

NarSuS は、24 時間 365 日、お客様の NAS を見守る安心サービスです。万一トラブルが発生しても、自動的にメールでトラブルをお知らせします。本製品に接続された UPS や外付け HDD の見守りもおこなえます。詳しくは、[NarSuS ヘルプ](#)をご確認ください。

1. LAN DISK のデスクトップに以下の画面が表示されます。

NarSuS への登録状況に応じて、ボタンをクリックください。

登録したことがない場合：

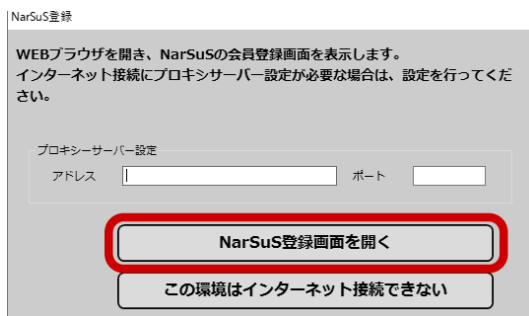
[NarSuS にはじめて登録（無料）] をクリック

登録したことがある場合：

[NarSuS に製品を追加登録] をクリック



2. [NarSuS 登録画面を開く] をクリックします。

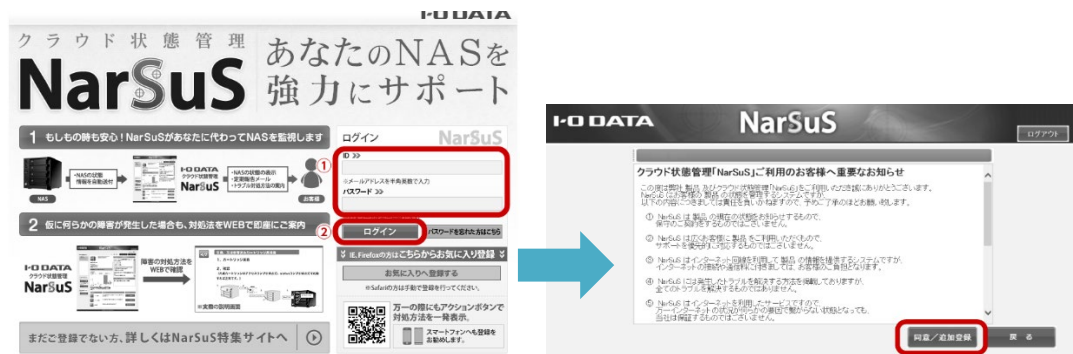


3. 内容を確認し、[同意/新規登録] をクリックします。



追加登録する場合は上記の画面の代わりに下記の画面が表示されます。

登録済みのID/パスワードを入力し、ログインしてから [同意/新規登録] をクリックください。



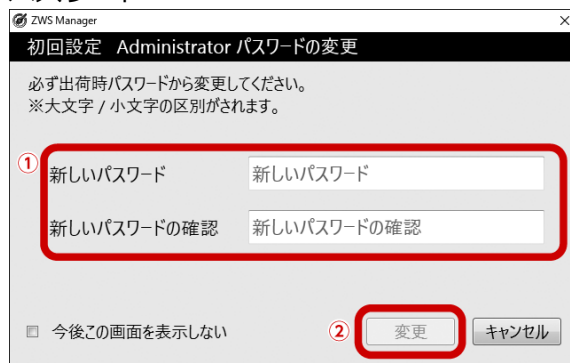
4. 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録ください。
5. 登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じてください。
6. 登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

## 2.3 LAN DISK の初期設定

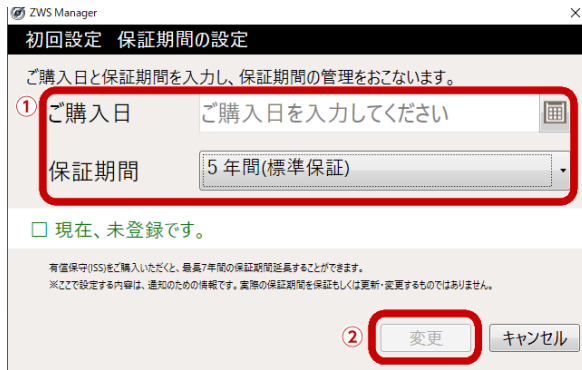
ここではお客様の要望に合わせた初期設定をご案内します。お客様によって必要な設定が異なりますので、必要に応じて設定ください。

(ア) 必ず必要な設定(初回ログオン時に画面に自動表示します)

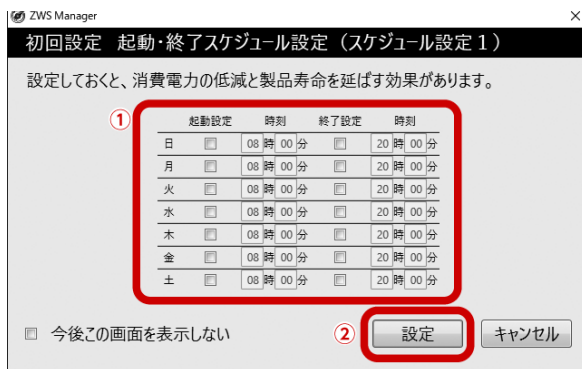
### A) パスワード



## B) 購入日と保証期間



## C) スケジュール設定

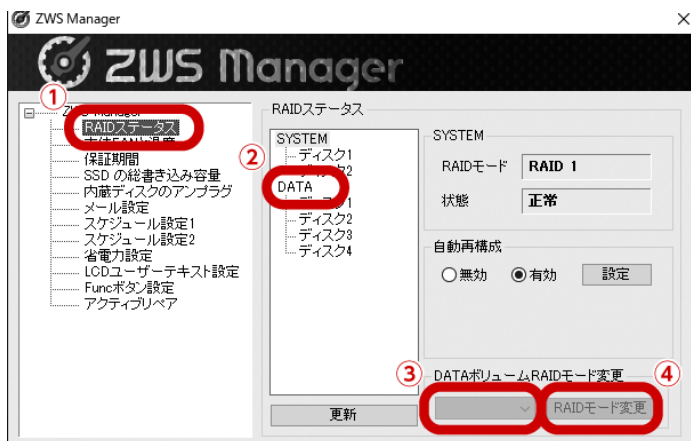


(イ) 設置環境によって必要な設定(Windowsの標準機能で設定ください)

- A) [日時・時刻の設定](#)
- B) [IPアドレスなどのネットワーク設定\(IPアドレス固定など\)](#)
- C) [コンピューター名/ドメイン名の設定](#)
- D) [Windows Updateの設定・実行](#)

(ウ) お客様の利用方法によって必要な設定

- A) [RAID変更](#)(タスクトレイの「ZWS Manager」で設定します。)



- B) [Active Directoryへ参加](#)(Windowsの標準機能で設定ください)
- C) [共有フォルダやユーザーの作成](#)(Windowsの標準機能で設定ください)

D) [アクセス許可](#)(Windowsの標準機能で設定ください)

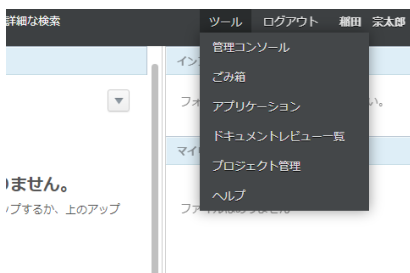
## 2.4 コラストレージのインストール

1. コラストレージへログインします。



※2段階認証等がある場合があります。

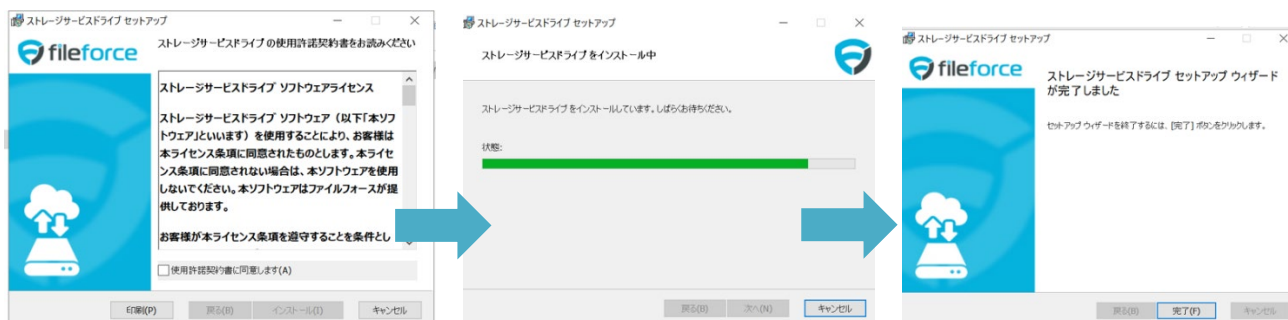
2. メニュー画面の「ツール」から「アプリケーション」を選択します。



3. 対応するストレージサービス Drive アプリをダウンロードします。



#### 4. ダウンロードファイルを起動し、インストールします。



完了後は LAN DISK が再起動するため、リモートデスクトップ接続が切断されます。

## 2.5 コラストレージの設定

1. LAN DISK 再起動後、改めてリモートデスクトップ接続をします。
2. コラストレージへログインします。
3. メニュー画面の「ツール」から「アプリケーション」を選択し、プロファイルをダウンロードします。



※キャッシュ先を変更する場合などは、「管理コンソール」の「アプリケーション」からあらかじめプロファイルを別で作成し、そのプロファイルをダウンロードください。



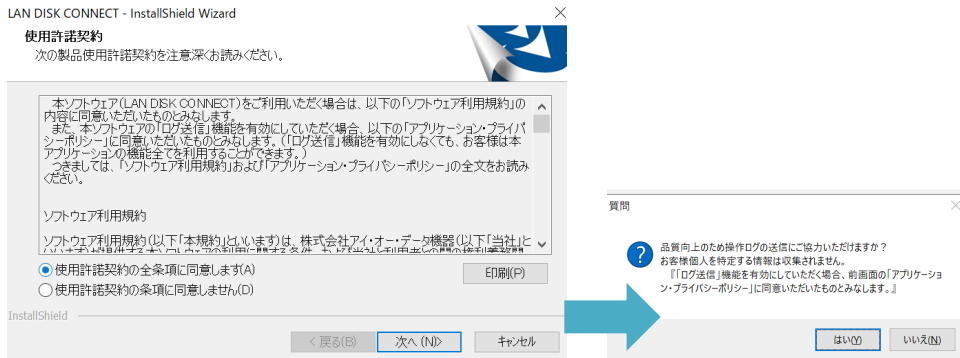
4. プロファイルをインストールし、Z ドライブがオンラインで割り当てられたことを確認ください。

## 2.6 LAN DISK CONNECT のインストールおよび同期設定

1. LAN DISK に LAN DISK CONNECT をダウンロードします。

<https://www.iodata.jp/r/5160>

2. ダウンロードしたファイルをインストールします。

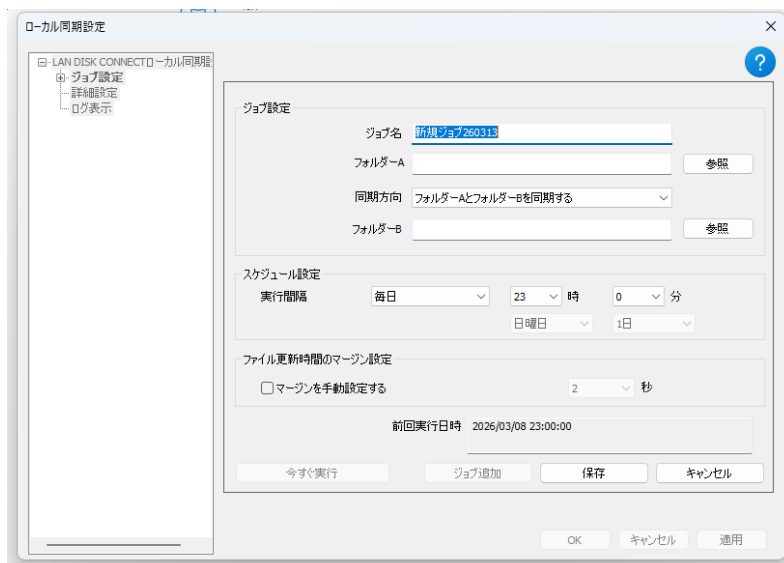


完了後は LAN DISK が再起動するため、リモートデスクトップ接続が切断されます。

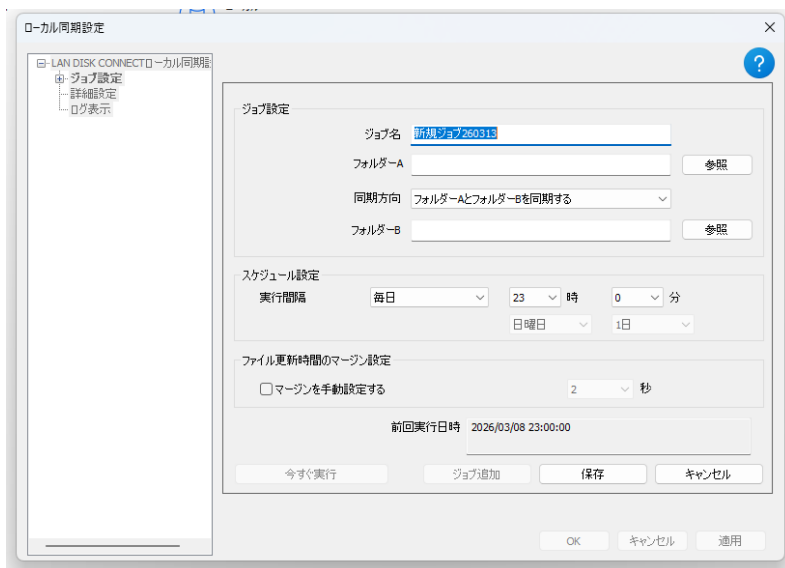
3. LAN DISK 再起動後、改めてリモートデスクトップ接続をします。
4. LAN DISK CONNECT を起動し、「ローカル同期設定」を選択します。



5. ジョブ設定画面が開くので「ジョブ追加」を選択します。

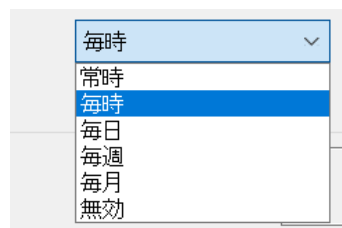
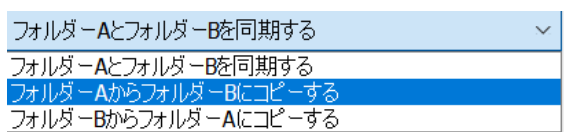


6. ジョブ名→同期方法を設定します。



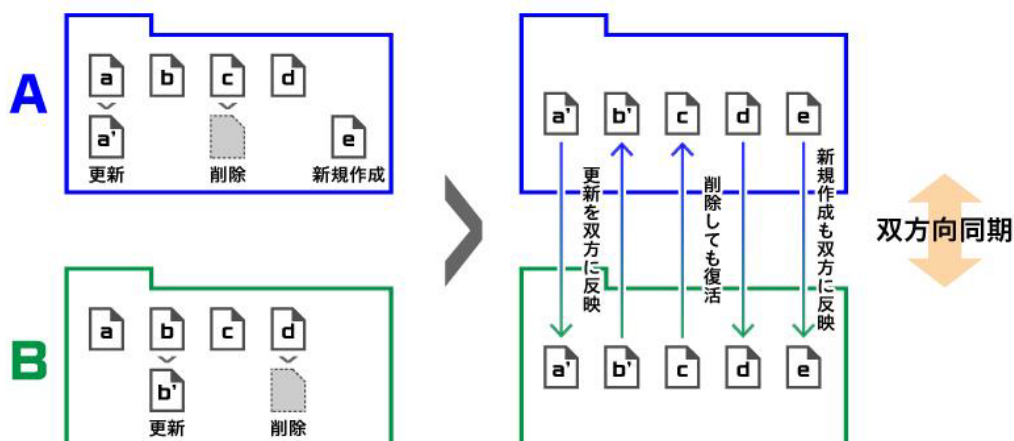
同期方法は以下から選択となります。

スケジュールは以下から選択となります。



同期設定の違いに関して

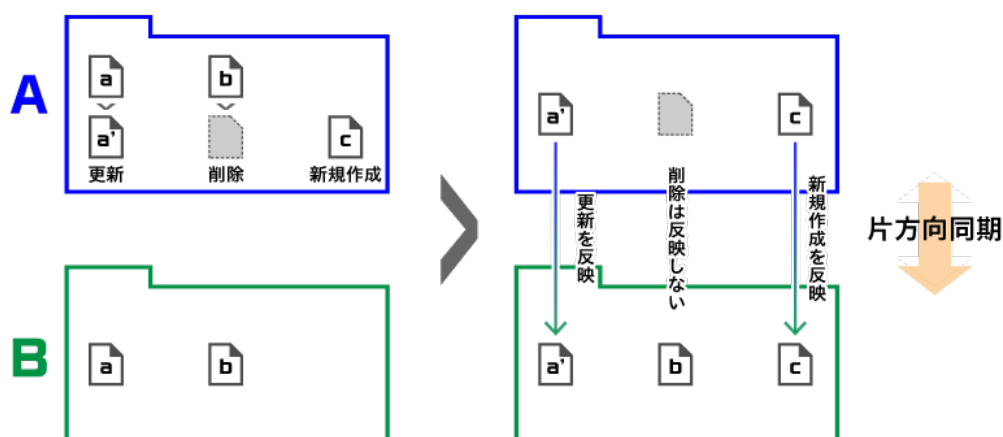
① コラストレージ(A)⇔NAS(B)の双方向



- NAS をメインのデータ保管場所として使いつつ、外出先でもデータを編集する必要がある時に使います。
- NAS もしくはコラストレージの片方で削除したデータが同期によって復活する場合があります。

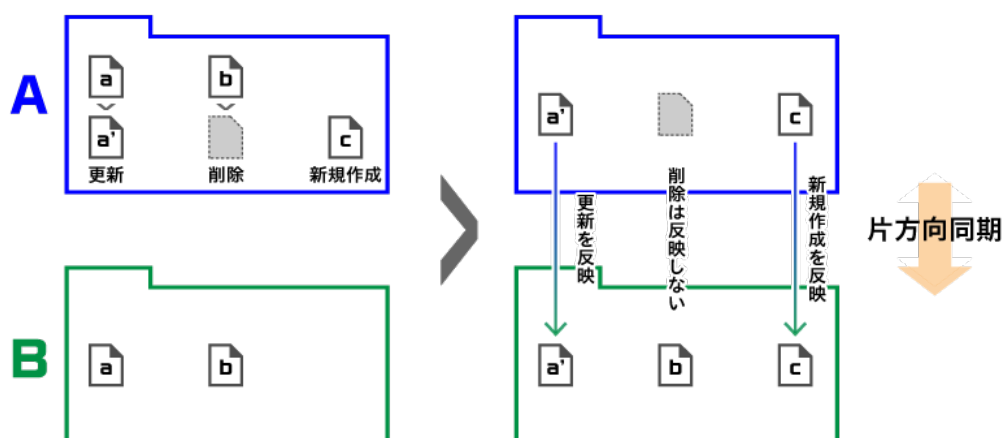
- NAS とコラストレージの両方で同時編集した場合に更新日時の古い方が上書きによって消える場合があります。

② NAS(A)→コラストレージ(B)の片方向



- NAS をメインのデータ保管場所として使いつつ、NAS 故障の際のデータ退避場所としてコラストレージを使う場合に使います。
- NAS のデータを削除してもコラストレージのデータは削除されないため、容量は減りません。
- コラストレージのデータを直接編集しても NAS のデータは変わらないため、コラストレージのデータは直接更新しないでください。

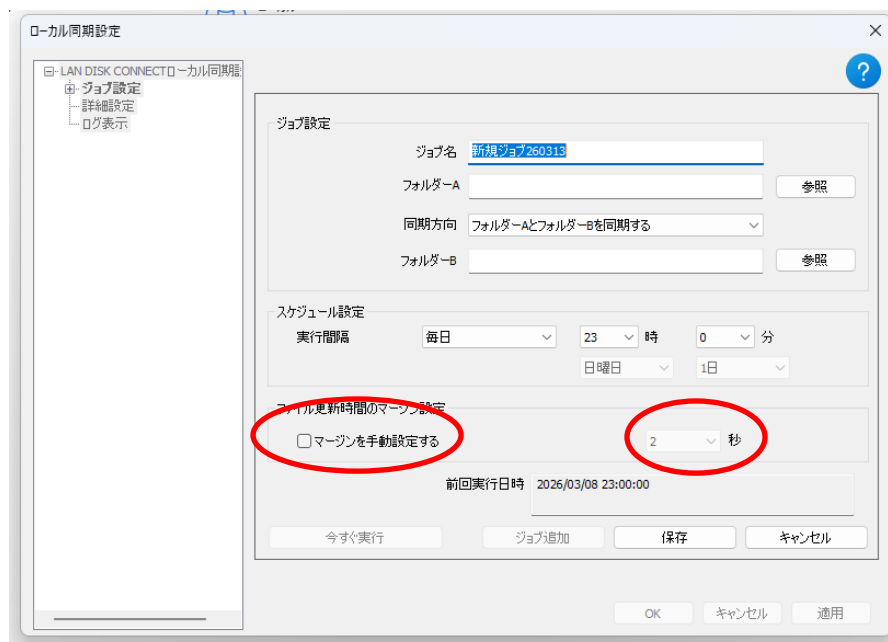
③ コラストレージ(A)→NAS(B)の片方向



- コラストレージをメインのデータ保管場所として使いつつ、ネットワーク不通のデータ退避場所として NAS を使うときやコラストレージ上のデータが増大した際に NAS に退避することで容量や費用を抑えたいときに使います。
- コラストレージのデータを削除しても NAS のデータは削除されないため、容量は減りません。
- NAS のデータを直接編集してもコラストレージのデータは変わらないため、NAS のデータは直接更新しないでください。

LAN DISK 内の特定の共有フォルダのみを同期対象とする場合などは必要に応じて Z ドライブ内のフォルダ作成等を事前に行ってからジョブ設定を行ってください。

7. 「マージンを手動設定する」にチェックを入れて、「5 秒」と設定ください。



8. ジョブを保存します。

## 2.7 同期の結果の確認

1. LAN DISK CONNECT を起動し、「ローカル同期設定」を選択します。
2. 「ログ表示」を選択すると設定したジョブの同期結果が表示されます。もし変更していないファイルも多数同期対象としてスキップされない場合は前述した「マージンを手動設定する」の時間を 5 秒より長くしてお試しください。

以上